

海外安全対策情報（2019年10月～12月）

1 社会・治安情勢

ウガンダでは、マーケットやイベント会場など混雑する場所での窃盗（スマートフォンが多い）や深夜の住居侵入、強盗などの凶悪犯罪に巻き込まれる事件が多く発生しており注意が必要です。特に、日が落ちてからの徒歩移動や人通りが少ない路地の通過は危険なため避けてください。

2019年に報告があった邦人の犯罪被害合計数は、16件でした。
（内訳：窃盗8件、住居侵入5件、強盗3件）

2 一般犯罪・凶悪犯罪

（1）盗難・強盗事件等

ア 邦人被害事案

10月 カンパラ市の住宅で日中にオーナーに雇われた清掃員が不在時に合い鍵で入室し現金を窃取しました。

10月 カンパラ市のナイトバーで飲食した際、スマートフォンの所在がわからなくなりました。

12月 カンパラ市の住宅で深夜就寝中にベランダから侵入されパソコンなどを窃取されました。

イ 邦人以外

10月 カンパラ市で10人の携帯電話泥棒の容疑者が逮捕され160台が回収されました。

12月 カンパラ市でナタを凶器に住宅侵入を繰り返していた犯人が逮捕されました。

（2）殺人事件

12月 中部のナカソングラ県では4日間で6人が次々と殺される殺人事件が発生しましたが、その後容疑者は逮捕されました。

3 テロ・爆弾事件発生状況

ウガンダに関して、テロ・爆弾事件は2010年7月以降発生していません。しかし、2019年4月に発生したスリランカの同時爆発事件をはじめ予期な

く発生する誘拐・脅迫・テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、渡航情報及び報道等により最新の治安・テロ情報等の入手に努め、日頃から危機管理意識を持つとともに状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が誘拐・脅迫される事件は発生していません。しかし、ウガンダにおいては人身売買および身代金を目的とした子供、女性の誘拐事件が多数発生しており邦人が巻き込まれる可能性も否定できないため、滞在中の夜間移動は控え警戒を怠ることのないよう十分注意してください。

ア キボガ県 (Kiboga)

12月、3人の子供が誘拐され、身代金を支払えずその後殺されました。

イ ムバレ県 (Mbale)

11月、9歳の少年が誘拐されました。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

書類の偽造や金取引に関する詐欺事件などが継続して発生していますので取引の際は慎重な調査を行う必要があります。

引き続き事務所、自宅への侵入被害が多発しており居住エリアの選定において、周囲の治安情報を収集しソフトターゲット（防犯能力が低く狙われる対象）にならないよう、セキュリティがしっかりした物件を選んでください。入居後も、侵入が容易な場所はないか他の侵入被害情報などを参考に定期的にチェックして警備レベルの維持と向上に努めてください。

以上